

出 水 市
事務事業評価報告書

平成27年10月

出水市行政評価市民委員会

目次

はじめに	・・・ 1
1 事務事業評価の実施手順	・・・ 2
(1) 目的	・・・ 2
(2) 評価対象事業	・・・ 2
(3) 評価の進め方	・・・ 2
(4) 評価者	・・・ 2
(5) 委員会の開催経過	・・・ 2
(6) 評価結果の取扱い	・・・ 2
2 委員会総括	・・・ 3
3 評価結果一覧	・・・ 4
4 今後の方向性の考え方	・・・ 4
5 実施計画・事務事業評価シート	・・・ 5
(1) 市勢要覧作成業務（総合政策課）	・・・ 5
(2) 家族介護慰労金（いきいき長寿課）	・・・ 6
(3) 福祉バス運行経費（いきいき長寿課）	・・・ 7
(4) 高尾野地域福祉バス運行事業（高尾野支所総合市民課）	・・・ 8
(5) 野田地域福祉バス運行事業（野田支所総合市民課）	・・・ 9
(6) グローバル化社会対応人材育成補助金（商業高校）	・・・ 10
(7) 水道料金改定事業（水道課）	・・・ 11
(8) 住宅災害防止事業（耐震対策事業）（都市計画課）	・・・ 12
(9) 庶務事務システム導入事業（総務課）	・・・ 13
(10) 交通安全運動実施経費（安全安心推進課）	・・・ 14
(11) 交通安全フェア開催経費（安全安心推進課）	・・・ 15

はじめに

少子高齢化の急速な進行など、社会経済情勢の変化を背景とした厳しい財政状況の中、行政に対する市民の視点はより多様化・高度化してきており、加えて地方分権の流れの中で、市民と行政がともに考え、ともに取り組む「共生・協働のまちづくり」が求められている。

このような中、平成24年度に「出水市行政評価市民委員会」が設置され、市が行う事務事業について、市民の視点により検証・評価がなされる仕組みがつくられたことは、非常に大きな意義がある。

本報告書は、事務事業の在り方に対する市民の意見として、評価結果等を取りまとめたものである。

出水市においては、評価結果や評価の際に委員から出された様々な意見や指摘について、真摯に受け止めていただき、次年度予算編成への反映はもとより、事務事業の在り方等を見直す際の積極的活用や、市民ニーズに沿った事務事業の展開など、今後の市政運営に広く生かされることを望むものである。

1 事務事業評価の実施手順

(1) 目的

事務事業評価は、限られた資源（ヒト・モノ・カネ）を効率的・効果的に配分することを目的に実施するもので、市民目線による評価を行うことにより、行政評価の客観性及び透明性を高め、公平・公正な行政サービスを推進するものである。

(2) 評価対象事業

平成27年度において実施している事業で、平成28年度も引き続き実施予定の事業や、平成28年度から新たに実施予定の事業を評価対象事業とし、今年度、二次評価を実施した17事務事業の中から、市が選定した5事務事業及び当委員会で選定した6事務事業の、合計11事務事業について評価を実施した。

(3) 評価の進め方

ア 事務事業の説明

各所管課長において、事務事業評価シートに基づいて事務事業の概要説明

イ 質疑応答

事務事業についての質疑応答

ウ 方向性等を決定

今後の方向性を決定する。また、委員長が意見を取りまとめて、方向性決定の理由や附帯意見を記録する。

(4) 評価者

行政評価市民委員会委員の6人で評価を実施した。

(5) 委員会の開催経過

会議	開催日	会議内容
第1回行政評価市民委員会	平成27年9月24日	行政評価制度の説明 各事務事業の概要説明
第2回行政評価市民委員会	10月6日	市が選定した5事務事業の評価 委員会が選定した6事務事業の評価
第3回行政評価市民委員会	10月13日	前年度評価事業の取組報告
第4回行政評価市民委員会	10月16日	報告書の作成、まとめ

(6) 評価結果の取扱い

当委員会での評価結果は、市長に報告することとする。

2 委員会総括

今回の行政評価市民委員会では、先ずもって、昨年度の市民委員会での附帯意見に対し、市からその後どのような検討や取組等が行われたかについて報告があった。その結果、それぞれの所管課において、費用対効果の検証や課題等の整理がなされ、改善が図られていたようである。

また、評価に当たっては、単に予算を削減するための視点ではなく、市民ニーズに沿った事務事業であるかという観点から、①対象・手段の妥当性や市で実施する必要性、②事業費・人件費の削減余地、③成果の達成度・向上の余地といった視点に立って評価を行った。

平成24年度から市民委員会が開催され今回で4年目になるが、職員の意識改革が図られているように感じることができた。今後においても、十分な検証を行うとともに、事業目的をより効果的・効率的に達成できるよう、絶え間なく見直しを検討する意識が必要である。

また、市の主要財源である普通交付税は、合併に伴う優遇措置が平成28年度以降徐々に縮減し、廃止されることなどから、将来的な財政事情は大変厳しいことが予想され、今後においては、真に必要とされる事務事業を取捨選択していくことが求められるであろう。行政サービスを低下させずに、新たな行政課題に対応していくためにも、職員一人ひとりの意識改革及び資質向上を図り、市民ニーズに沿った積極的な事務事業の推進が必要である。

今後においては、より市民に身近な事業の検証・評価を行うことにより市民委員会の効果が大きなものになると思われる。

また、行政評価市民委員会において出された様々な意見等が、今後の予算編成や事務事業の見直しに反映され、効果的で効率的な行財政運営と市政発展につながることを期待する。

3 評価結果一覧

番号	事務事業名	所管課	評価結果
1	市勢要覧作成業務	総合政策課	廃止
2	家族介護慰労金	いきいき長寿課	廃止
3	福祉バス運行経費	いきいき長寿課	統合
4	高尾野地域福祉バス運行事業	高尾野支所総合市民課	統合
5	野田地域福祉バス運行事業	野田支所総合市民課	統合
6	グローバル化社会対応人材育成補助金	商業高校	現行のまま継続
7	水道料金改定事業	水道課	実施する
8	住宅災害防止事業（耐震対策事業）	都市計画課	統合
9	庶務事務システム導入事業	総務課	事業内容を再検討する
10	交通安全運動実施経費	安全安心推進課	現行のまま継続
11	交通安全フェア開催経費	安全安心推進課	統合

4 今後の方向性の考え方

今後の方向性 （総合評価）	方向性の考え方
拡大	対象、手段、意図の拡大
現行のまま継続	現行のまま継続
改善して継続	事務事業の成果向上を図るために、手段（やり方）の見直しを行うことや、成果を下げずに事業費を削減すること。 また、受益者の負担水準・受益機会の適正化を図ることなど。
統合	他の事務事業との統合
縮小	対象、手段、意図の縮小
廃止・休止	事務事業の廃止・休止

平成27年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	政策経営部	課等名	総合政策課	記入者名	花田勝宏	内線	210
事務事業名	市勢要覧作成業務		事業期間	平成	年度	～ 平成	28 年度
総合計画上の位置付け	基本方針	住民と行政が協働するまちづくり					
	施策	住民参画の推進					
	細施策	広報機能の充実					
根拠法令・条例、関連計画等							
予算細々目名				会計	款	項	目
広報業務費				01	02	01	02
							005
							01

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

本市の主要施策や地域の特色等を写真や図表を交えてわかりやすく紹介する冊子で、行政視察や先進地視察等及び同視察の受入れ時の資料として活用する。

3 事務事業の概要

H26年度の事業概要	H27年度の事業概要・計画	H28年度の事業計画	H29年度の事業計画
平成24年度事業概要 委託料2,730,000円 作成部数1,000部 作成時に自治会長や各市に650部配布 (平成27年5月28日現在の残部数238部)	—	ホームページの充実や観光パンフレット等で代用可能と考える。	—

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市外・県外在住者等	行政視察等の受入れ時や訪問時
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
市勢について広く紹介することで本市に興味と理解を深めてもらう。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	ホームページ等を充実させることで広く情報提供ができる。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に廃止とする。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に廃止とする。

平成27年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート【特別会計用】

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	いきいき長寿課	記入者名	田畑 幸二	内線	235	
事務事業名	家族介護慰労金		事業期間	平成 12 年度 ~ 平成 年度				
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐむ健康・福祉のまちづくり						
	施策	高齢者福祉の充実						
	細施策	安心と安らぎのある体制づくり						
根拠法令・条例、関連計画等		出水市家族介護慰労金支給事業実施要綱						
予算細々目名			会計	款	項	目	細目	細々目
家族介護支援事業費			6	4	2	5	3	1

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

在宅の寝たきりの高齢者等（要介護4・5の65歳以上の方）を、介護保険サービスを利用しないで介護している方を慰労することを目的とする。

3 事務事業の概要

H26年度の事業概要	H27年度の事業概要・計画	H28年度の事業計画	H29年度の事業計画
実績なし	1件 10万円	1件 10万円	1件 10万円

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
介護保険サービスを利用していない在宅の寝たきり高齢者等（要介護4・5の方）を介護している方	介護保険係に申請があり次第、サービス利用の状況や課税状況を確認し、対象となるかの判断をする。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
在宅の寝たきりの高齢者等（要介護4・5の65歳以上の方）を、介護保険サービスを利用しないで介護している方を慰労することを目的とする。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	平成26年度においては、本市を含め23団体が実施を予定し、うち16団体に事業実績があった。本市においては、平成29年度まで継続事業とし、申請がなければ廃止したい。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	本事業は、介護保険制度の円滑な導入を目的をして開始されたものであるが、介護保険制度が開始され15年を経過し、制度の浸透は図られている。また、平成22年度以降支給実績はなく、初期の目的は達成したと思われることから今年度で廃止とする。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に廃止とする。

平成27年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	いきいき長寿課	記入者名	外園 俊美	内線	163
事務事業名	福祉バス運行経費	事業期間	平成	年度	～	平成	年度
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり					
	施策	高齢者福祉の充実					
	細施策	高齢者が活躍できるまちづくり					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市福祉バス管理規程						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	細々目
高齢者福祉一般管理費（福祉バス運転委託及び維持管理費）		1	3	2	1	2	1

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

市老人クラブ連合会、単位老人クラブ、その他の社会福祉関係団体が行事、会合、研修等の際に使用することにより、高齢者団体の活動を支援する。

3 事務事業の概要

H26年度の事業概要	H27年度の事業概要・計画	H28年度の事業計画	H29年度の事業計画
福祉バス（H5年式） 貸出件数 44件 運転業務については、シルバー人材センターに業務委託	貸出件数 40件 運転業務については、シルバー人材センターに業務委託	貸出件数 45件 運転業務については、シルバー人材センターに業務委託	H28年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市老人クラブ連合会、単位老人クラブ、その他の社会福祉関係団体	集合場所から行事、会合、研修等の会場までの交通手段として、福祉バスの使用を提供する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
自主的な活動の活性化を促進する。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	利用団体の福祉向上の観点から、現状のまま継続したい。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	貸出件数を比較すると統一した利用形態になっていないと思われる。また、本事業は民間事業の圧迫にも繋がることから、利用形態の適正化を図り、管理運営業務については本庁で一括して行い、最終的には保有する福祉バスを1台とする。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	管理体制の一本化を図り統一した取扱いを行うこと。また、福祉バスの保有台数の削減については、福祉サービスの低下を招かないように配慮すること。

平成27年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	高尾野支所総合市民課	記入者名	八田幸子	内線	416		
事務事業名	高尾野地域福祉バス運行事業		事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度					
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさをがはぐむ健康・福祉のまちづくり							
	施策	高齢者福祉の充実							
	細施策	高齢者が活躍できるまちづくり							
根拠法令・条例、関連計画等	出水市福祉バス管理規程								
予算細々目名				会計	款	項目	細目	細々目	
高尾野支所(福祉バス運転業務委託等)				01	03	01	01	002	02

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

老人クラブや福祉関係団体の研修等に福祉バスを提供し、使用団体の負担を軽減することで高齢者団体の活動を支援する。さらにバスの運転を鹿児島県シルバー人材センター連合会(出水市シルバー人材センター)へ委託することで高齢者の雇用を支える。

3 事務事業の概要

H26年度の事業概要	H27年度の事業概要・計画	H28年度の事業計画	H29年度の事業計画
福祉バス（H4年式） 貸出件数 105件 運転業務については、シルバー人材センターに業務委託	貸出件数 105件 運転業務については、シルバー人材センターに業務委託	貸出件数 105件 運転業務については、シルバー人材センターに業務委託	H28年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市老人クラブ連合会、単位老人クラブ、その他の社会福祉関係団体	集合場所から行事、会合、研修等の会場までの交通手段として、福祉バスの使用を提供する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
自主的な活動の活性化を促進する。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	利用団体の福祉向上の観点から、現状のまま継続したい。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	貸出件数を比較すると統一した利用形態になっていないと思われる。また、本事業は民間事業の圧迫にも繋がることから、利用形態の適正化を図り、管理運営業務については本庁で一括して行い、最終的には保有する福祉バスを1台とする。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	管理体制の一本化を図り統一した取扱いを行うこと。また、福祉バスの保有台数の削減については、福祉サービスの低下を招かないように配慮すること。

平成27年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	野田支所総合市民課	記入者名	上原了子	内線	711
事務事業名	野田地域福祉バス運行事業		事業期間	平成	年度	～	平成
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり					
	施策	高齢者福祉の充実					
	細施策	高齢者が活躍できるまちづくり					
根拠法令・条例、関連計画等		出水市福祉バス管理規定					
予算細々目名				会計	款	項	目
社会福祉一般管理費（福祉バス運転委託料）				1	3	1	1

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

老人クラブや各種社会福祉関係団体の研修等に福祉バスを提供し、使用団体の負担を軽減及び福祉活動の向上を図るとともに、バスの運転を鹿児島県シルバー人材センター連合会（出水市シルバー人材センター）へ委託することで高齢者の雇用を支える。

3 事務事業の概要

H26年度の事業概要	H27年度の事業概要・計画	H28年度の事業計画	H29年度の事業計画
福祉バス（H17年式） 貸出件数 46件 運転業務については、シルバー人材センターに業務委託	貸出件数 45件 運転業務については、シルバー人材センターに業務委託	貸出件数 48件 運転業務については、シルバー人材センターに業務委託	H28年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市老人クラブ連合会、単位老人クラブ、その他社会福祉関係団体	集合場所から行事、会合、研修等の会場までの交通手段として、福祉バスの使用を提供する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
自主的な活動の活性化を促進する。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	利用団体の福祉向上の観点から、現状のまま継続したい。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	貸出件数を比較すると統一した利用形態になっていないと思われる。また、本事業は民間事業の圧迫にも繋がることから、利用形態の適正化を図り、管理運営業務については本庁で一括して行い、最終的には保有する福祉バスを1台とする。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	管理体制の一本化を図り統一した取扱いを行うこと。また、福祉バスの保有台数の削減については、福祉サービスの低下を招かないように配慮すること。

平成27年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	教育部	課等名	商業高校	記入者名	宇都 眞由美	内線	67-1069
事務事業名	グローバル化社会対応人材育成補助金		事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	歴史と文化の薫りが暮らしを彩る教育と住民自治のまちづくり					
	施策	高校教育の充実					
	細施策	特色ある学校づくり					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市立出水商業高等学校グローバル化社会対応人材育成補助金交付要綱						
予算細々目名	会計	款	項	目	細目	細々目	
高等学校振興事業費(修学旅行(台湾)助成事業補助金)	01	10	04	02	003	01	

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

海外への修学旅行を通して、外国の風土・文化・産業などを理解し、親善・友好の心情を養い、国際感覚を身に付けると同時に、外国にある企業での研修や地元の生徒との交流を通して、グローバル化社会に対応できる人材を育成することを目的とする。

3 事務事業の概要

H26年度の事業概要	H27年度の事業概要・計画	H28年度の事業計画	H29年度の事業計画
<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行日程 12月9日から12日まで（3泊4日） 行き先 台湾 	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行日程 12月15日から18日まで（3泊4日） 行き先 台湾 	平成27年度の事業継続	平成28年度の事業継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
生徒及び保護者	修学旅行に参加した生徒に対し、費用の一部を補助する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
海外への修学旅行を実施することにより、グローバル化社会に対応する人材を育成する。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続し、特色ある修学旅行の取り組みにより、グローバル化社会に対応できる人材を育成していく。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とする。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に現行のまま継続とする。

平成27年度 実施計画・事務事業評価（事前評価）シート【特別会計用】

実施計画

1 基本事項

部等名	水道部	課等名	水道課	記入者名	吉ヶ島 英章	内線	181	
事務事業名	水道料金改定事業		事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 29 年度				
総合計画上の位置付け	基本方針	豊かな緑ときれいな水を未来に引き継ぐまちづくり						
	施策	上水道の整備充実・経営効率化の推進						
	細施策	経営基盤の強化						
根拠法令・条例、関連計画等		出水市水道事業基本計画						
予算細々目名				会計	款	項目	細目 細々目	
水道事業費用－営業費用－総係費					21	01	05	

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

給水原価*¹（125.6円/m³）に対して、供給単価*²（111.9円/m³）が低廉となる逆転現象が生じているため、適正な料金水準を確保する必要がある。
 また、施設の老朽化が進展しており、今後、更新事業（投資）を行う必要もあり水道の安定供給を行うため。

*1 1 m³作るのに必要とする経費【経常費用（減価償却費、企業債利子等を含む）÷年間総有収水量】
 *2 1 m³当たりの収益【給水収益÷年間総有収水量】

3 事務事業の概要

H28年度の事業計画	H29年度の事業計画	H30年度以降の事業計画
水道事業運営審議会設置条例整備 水道事業運営審議会（仮）の設置	出水市水道事業給水条例の改正 住民周知・新料金表施行	

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
水道利用者	適正な料金水準の実現
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
健全な経営を持続する水道事業	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	給水原価に対して、供給単価が低廉になっていることから適正な料金水準を確保するため実施する。 また、下水道料金の見直しとも連携を図る必要がある。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	下水道料金の改定と併せて実施する必要がある。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	審議会では、施設の更新費用によるコスト増加だけを考慮するのではなく、施設の統廃合などによるコスト削減の面など、総合的な観点から審議をお願いする。

平成27年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	建設部	課等名	都市計画課	記入者名	澤田 誠一	内線	356
事務事業名	住宅災害防止事業（耐震対策事業）		事業期間	平成 21 年度～平成 ー 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	安全・安心で快適な都市基盤が整った人と自然を大切にすまらづくり					
	施策	市街地・宅地・住宅の整備					
	細施策	住宅の整備					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市木造住宅耐震診断補助金交付要綱、出水市木造住宅耐震改修工事補助金交付要綱						
予算細々目名				会計	款	項	目
	建築物耐震改修促進事業費			1	8	6	4

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

甚大な被害をもたらす大規模地震により想定される被害を未然に防止・低減するために、建築物の耐震改修を促進していく必要があることから、民間木造住宅の耐震診断・耐震改修を実施する所有者に対して補助金を交付する。

3 事務事業の概要

H26年度の事業概要	H27年度の事業概要・計画	H28年度の事業計画	H29年度の事業計画
対象 木造住宅(3階建以下)で昭和56年5月31日以前に建築されたもの 耐震診断補助 補助率2/3 限度額2万円 10件予定(申請無し) 耐震改修補助 補助率 1/3 限度額 20万円 4件予定(申請無し) 補助金交付要綱 平成21年4月1日施行以来の継続事業	対象 木造住宅(3階建以下)で昭和56年5月31日以前に建築されたもの 耐震診断補助 補助率2/3 限度額2万円 5件予定 耐震改修補助 補助率 1/3 限度額 20万円 3件予定 平成21年度の継続事業	耐震診断補助 補助率2/3 限度額2万円 5件予定 耐震改修補助 補助率 1/3 限度額 20万円 3件予定	耐震診断補助 補助率2/3 限度額2万円 5件予定 耐震改修補助 補助率 1/3 限度額 20万円 3件予定

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
民間木造住宅所有者	耐震診断及び耐震改修工事に要する経費の補助
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
耐震診断により、住宅の耐震性を把握できる。 耐震性のない住宅の耐震改修工事を行うことにより、地震に対する安全性の向上が図られる。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	実績はないものの、大規模地震により想定される被害を未然に防止・提言するために建築物の耐震改修を促進していく必要があることから現行のまま継続とする。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	空家対策事業や木造住宅新築等建築工事促進事業など総合的に見直しを図る際には、本事業の統合を検討すること。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に統合とする。なお、本事業の趣旨である耐震化を含んだ事業の統合に配慮すること。

平成27年度 実施計画・事務事業評価（事前評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	政策経営部	課等名	総務課	記入者名	山元 周作	内線	205
事務事業名	庶務事務システム導入事業		事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 28 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	健全で効率的な行財政運営を推進するまちづくり					
	施策	時代の変化に対応した行政運営体制の構築					
	細施策	共通する内部事務の改善及び効率化					
根拠法令・条例、関連計画等							
予算細々目名				会計	款	項	目
人事管理費				01	02	01	01

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

現在、庶務事務（サービス、給与事務等）については、下記の業務について手作業で集計等を行っており、例えば、年休簿と出勤簿とで整合性がとれていない課等が散見される。新庁舎建設に伴い、出退勤管理等をはじめとする庶務事務を電子システム化することによって、業務改善（時間外勤務の縮減）を図ろうとするものである。

【手作業を行っている業務】

サービス・・・年休、特休等休暇申請手続、年休繰越計算処理、職員の各種届出、出勤簿整理
給与・・・時間外勤務の申請、時間外勤務手当の算定、給与明細封入・送付

3 事務事業の概要

H28年度の事業計画	H29年度の事業計画	H30年度以降の事業計画
新庁舎での業務開始に合わせて、庶務事務システムを導入し、出退勤管理等事務の簡素・合理化を図る。 勤怠管理システムの導入・個人認証カードの作成・交付	庶務事務システム保守	庶務事務システム保守

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
給与明細、各種届出については、全職員 それ以外は、費用対効果の面から本庁職員のみ	給与明細、各種届出のペーパーレス化（全職員） 出退勤、時間外勤務、年休申請等電子決裁（本庁職員のみ）
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
出退勤管理がより正確になり、出勤簿整理、年休簿管理、時間外勤務手当の算定に係る人件費の縮減に繋がる。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	成果指標については、職員係の事務従事時間数のみ記載しているため、費用対効果がないようにみえるが、財政課、税務課等の繁忙期の時間外勤務命令簿の記入・決裁・集計及び給与明細の紙ベースでの出力に要する時間、封入作業等を考えるとシステム導入の効果は大きいと考える。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input checked="" type="checkbox"/> 実施しない	費用対効果が明確になっていない段階でシステムを導入することは時期尚早である。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	事務の効率化は必要なことであるが、本事業では費用対効果が見込まれないため、事業内容を再検討すること。

平成27年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	政策経営部	課等名	安全安心推進課	記入者名	志水靖博	内線	257		
事務事業名	交通安全運動実施経費		事業期間	平成	年度	～	平成	年度	
総合計画上の位置付け	基本方針	安全・安心で快適な都市基盤が整った人と自然を大切にすまちづくり							
	施策	生活安全対策の充実							
	細施策	交通安全対策の充実							
根拠法令・条例、関連計画等									
予算細々目名				会計	款	項	目	細目	細々目
交通安全対策費（交通安全運動経費）				01	02	01	09	001	01

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

春及び秋の全国交通安全運動、夏及び年末年始の交通事故防止運動の期間中において交通安全運動啓発出発式、街頭キャンペーンを開催し、市民の交通安全に対する意識啓発を行う。

3 事務事業の概要

H26年度の事業概要	H27年度の事業概要・計画	H28年度の事業計画	H29年度の事業計画
交通安全運動啓発出発式 ・参加幼児の送迎バス 運転委託 ・ハッピークリーニング 街頭キャンペーン ・啓発用品配布 (ヤクルト、ポケットティッシュ)	交通安全運動啓発出発式 ・参加幼児の送迎バス 運転委託 ・ハッピークリーニング 街頭キャンペーン ・啓発用品配布 (ヤクルト、ポケットティッシュ)	交通安全運動啓発出発式 ・参加幼児の送迎バス 運転委託 ・ハッピークリーニング 街頭キャンペーン ・啓発用品配布 (ヤクルト、ポケットティッシュ)	交通安全運動啓発出発式 ・参加幼児の送迎バス 運転委託 ・ハッピークリーニング 街頭キャンペーン ・啓発用品配布 (ヤクルト、ポケットティッシュ)

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市民	交通安全運動期間を通して、交通安全の意識啓発を行う。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
交通安全に対する自覚と意識の高揚を図り、交通事故の減少を目指す。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	全国的に運動を実施されている事業であり、交通事故防止のため事業の継続が必要である。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とする。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に現行のまま継続とする。

平成27年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	政策経営部	課等名	安全安心推進課	記入者名	志水靖博	内線	257
事務事業名	交通安全フェア開催経費		事業期間	平成	年度	～	平成
総合計画上の位置付け	基本方針	安全・安心で快適な都市基盤が整った人と自然を大切にすまらづくり					
	施策	生活安全対策の充実					
	細施策	交通安全対策の充実					
根拠法令・条例、関連計画等							
予算細々目名				会計	款	項	目
交通安全対策費（交通安全フェア経費）				01	02	01	09

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

市民が多く集客する大産業祭と同時開催することで、県警による交通教室、ちびっこ免許証交付、パネル展示等の交通安全に関する啓発広報により市民の交通安全の意識高揚を目的としている。

3 事務事業の概要

H26年度の事業概要	H27年度の事業概要・計画	H28年度の事業計画	H29年度の事業計画
交通安全フェアの開催 ・ちびっこ免許証交付 ・県警ひまわり号交通教室 ・整備協会自動車無料点検 ・交通安全パネル展示 ・パトカー、白バイ撮影会 ・交通安全啓発品配布	交通安全フェアの開催 ・ちびっこ免許証交付 ・県警ひまわり号交通教室 ・整備協会自動車無料点検 ・交通安全パネル展示 ・パトカー、白バイ撮影会 ・交通安全啓発品配布	交通安全フェアの開催 ・ちびっこ免許証交付 ・県警ひまわり号交通教室 ・整備協会自動車無料点検 ・交通安全パネル展示 ・パトカー、白バイ撮影会 ・交通安全啓発品配布	交通安全フェアの開催 ・ちびっこ免許証交付 ・県警ひまわり号交通教室 ・整備協会自動車無料点検 ・交通安全パネル展示 ・パトカー、白バイ撮影会 ・交通安全啓発品配布

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市民	各年齢層に応じたイベントを通じて、交通安全の意識啓発を行う。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
交通安全に対する自覚と意識の高揚を図り、交通事故の減少を目指す。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	県内の交通事故による死傷者数も依然として多いことから、交通事故防止について市民へ強く意識付けするためにも事業の継続が必要である。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	平成25年度から商工会議所主催の交通安全三世代フェスタを鶴翔祭に併せて開催しているが本事業と内容が重複していることから、交通安全三世代フェスタとの統合を検討すること。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に統合とする。